

H29年産大麦情報第4号

平成29年3月27日
J A 松 任
白山石川営農推進協議会

出穂10日前の追肥で収量品質向上！！ 赤かび病等の病害防除で品質向上！！

1. 止葉展開期の追肥について（細麦の恐れがある圃場のみ施用）

茎数過剰の圃場や葉色が薄い（葉色板値5未満）圃場は、細麦となる恐れがあります。
粒張り向上のため4月初旬に追肥施用して下さい。

時期	肥料名	施用量 (10a 当たり)
出穂10日前 (4/1~4/5 頃)	BBNK17	6kg

施用時期の遅れは、硝子率の
多発や、効果低減に繋がります。
遅れないよう生育状況を確認し、
追肥しましょう。



●生育状況(3/22調査)

積雪日数が少ないことから、止葉展開期及び出穂期は平年より早くなる見込みです（止葉展開期：4月上旬頃、出穂期：4月中旬頃）。目標茎数（650~750本/m²）に達している圃場が多いですが、一部排水不良や雑草の多い圃場では少なく経過しています。

地区	茎数（本/m）	茎数（本/m ² ）	止葉展開期	出穂期
徳光	198	733	4/4頃	4/16頃
宮丸	190	691	4/4頃	4/16頃
安吉	180	667	4/5頃	4/17頃
出合島	111	463	4/1頃	4/13頃

2. 排水溝の点検について

出穂期以降は特に湿害の影響を受けやすく、また、今後は周囲の水田や用水からの漏水が生じやすくなります。排水溝のつなぎ等を再度点検し、圃場内の排水に努めて下さい。



圃場に水たまりを見つけたら
ただちに排水を！！

〈裏面へ〉

3. 赤かび病等の病害防除について

出穂後3～5日の穂揃期、その1週間後の2回防除を徹底して下さい。

対象病害	防除時期	薬剤名	10a 当たり 使用量	使用 回数
赤かび病	第1回 出穂後3～5日 (穂揃期)	トップジン M 粉剤 DL (粉剤体系)	4 k g	出穂期 以降は 1回 以内
		トップジン M ゴル (液剤体系) ※無人ヘリ対応可能薬剤	薬剤 67ml 1,500 倍希釈 (水 100ℓ)	
	第2回 1回目散布の 1週間後	ワークアップ 粉剤 DL (粉剤体系)	3 k g	2回 以内
		チルト乳剤 25 (液剤体系) ※無人ヘリ対応可能薬剤	薬剤 66ml 1,500 倍希釈 (水 100ℓ)	1回

※生育旺盛な圃場では、うどんこ病の多発が懸念されるので、薬剤防除を徹底すること。

4. 大麦圃場内の周縁部の除草について

薬剤名	使用場所	対象雑草	使用時期	10a 当たり使用量		使用 回数
				薬量	希釈 水量	
プリグロックス L	圃場内の 周縁部	1年生 雑草	雑草生育期	600～ 1000ml	100～ 150ℓ	4回 以内
ラウンド アップマックス ロード	圃場内の 周縁部	1年生 雑草	収穫前日まで (雑草生育期)	200～ 500ml	50～ 100ℓ	3回 以内

●大麦生育期間の気象経過(10/1 半旬～3/4 半旬) 金沢アメダスデータ

H29年産大麦生育期間中の気象の推移

